

大項目毎の取組方針

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化

渡島信用金庫

項 目	具 体 的 取 組 方 針
(1) 創業・新事業支援機能等の強化	
①融資審査態勢の強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産業の主力を占めている漁業・水産加工業者に対する融資審査のため、審査部と営業店が連携して、情報の蓄積・共有化をはかり、融資審査態勢の強化を図る。 ・大口与信先に対して、業況ヒアリングを実施し、債務者管理の強化を図る。
②産学官の更なる連携強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道地区産業クラスターサポート金融会議に参加し、情報収集を実施する。
③地域におけるベンチャー企業向け業務	<ul style="list-style-type: none"> ・当金庫の営業区域内で、新たに創業を計画している事業者に対し、ベンチャー企業支援資金「KITAI」（期待）により支援を行なう。
(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	
①中小企業に対する、情報提供機能の一層の強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・「おしま経営研究会」、「渡島会」のネットワークや業界団体との共催による商談会へ参加し、企業の支援を図る。
②中小企業支援スキルの向上を目的とした取組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・本部集合研修の開催による職員のスキルアップ。 ・「いとう塾」の開催による幹部職員の養成。 ・外部研修への参加による職員のスキルアップ。 ・ファイナンシャルプランナー資格の職員取得。
③要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・要注意先債権等の健全化のため、要注意先以下の債務者の経営改善支援に審査部が主体となり、営業店と連携して必要な支援を行う。 ・審査担当者のスキルアップを図り、要注意先債権等の健全債権化を推進する。
④健全債権化等の強化に関する実績の公表等	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援取組先数、経営改善支援実施先についてのランクアップ先数、ランクダウン先数を公表する。
(3) 事業再生に向けた積極的取組み	
①金融実務にかかる専門的人材・ノウハウの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・本部集合研修や「いとう塾」の開催により金融実務にかかる専門的人材の育成に努め、また、事業再生等のノウハウの共有化を図る。 ・事業再生等に係る研修に積極的に参加する。 ・北海道立工業技術センターや中小企業再生支援協議会等主催の各種セミナーに積極的に参加する。
②再生支援実績に関する情報開示の拡充 再生ノウハウ共有化の一層の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道地区しんきん企業支援研究会へ参加し、業界内での再生ノウハウの共有化を実施する。

(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進	
①不動産担保・保証に過度に依存しない融資を促進するための手法の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・財務データの蓄積の実施 ・融資後のモニタリングを継続して実施する。 ・信用リスクデータベースの構築を視野に入れ、信用格付の導入検討。
②中小企業の資金調達手法の多様化等	<ul style="list-style-type: none"> ・売掛債権担保貸出の拡充を図り、中小企業の資金調達手段の多様化に寄与する。 ・北海道信用保証協会と連携を図る。
(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化	
①顧客への説明及び相談・苦情処理態勢の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業金融の円滑化や顧客保護の観点から、契約条件等について、顧客に対して適切かつ十分な説明を行ない、顧客への説明態勢の整備及び相談苦情処理機能の強化を図る。
(6) 人材の育成	
①企業の将来性や技術力を的確に評価できる能力の向上など人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・本部集合研修の開催による職員のスキルアップ。 ・「いとう塾」の開催による幹部職員の養成。 ・外部研修への参加による職員のスキルアップ。 ・ファイナンシャルプランナー資格の職員取得。

大項目毎の取組方針

2. 経営力の強化

項 目	具 体 的 取 組 方 針
(1) リスク管理態勢の充実	
①バーゼルⅡ 対応の総括	・総合リスク管理委員会において検討する。
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上	
①収益管理態勢の整備と収益力の向上のための取組み	・信用リスクデータベースの構築による収益管理態勢の整備を視野入れ、財務データの蓄積を実施する。 ・信用格付の導入検討を実施する。
(3) ガバナンスの強化	
①半期開示の内容充実	・半期ディスクロージャーにより半期開示を継続する。
②総代会の機能強化に向けた取組み	・地区別総代懇談会の開催。
	・指定金融機関・収納代理金融機関収入役会議の開催
	・各地区渡島会総会への理事長参加
(4) 法令等遵守（コンプライアンス）態勢の強化	
①営業店に対する法令等遵守状況の点検強化等	・不祥事件等の発生の未然防止を図るため、営業店に対する法令等遵守状況の点検強化など、法令遵守態勢の強化を図る。
②適切な顧客情報の管理・取扱の確保	・顧客情報管理に関して、個人情報保護法の施行を踏まえ、法令等の諸規定に基づき、適切な管理・取扱をする。
(5) ITの戦略的利用	
①顧客データベース拡充等による情報系システムの構築	・北海道信金共同事務センターによる情報系システム利用による顧客サービス・経営管理能力の強化。 ・共同システムによる IT に関する新たな変革に対するシステムの基盤整備。
(6) 協同組織中央機関の機能強化	
①市場リスクや収益性確保への取組み	・国債、地方債、政府保証債の業界引受
	・市場リスクや収益性確保のため、信金中金との情報交換

大項目毎の取組方針

3. 地域の利用者の利便性向上

項 目	具 体 的 取 組 方 針
(1) 地域貢献等に関する情報開示	
①地域貢献に関する情報開示	・ 毎期のディスクロ誌に開示を継続。
②充実した分かりやすい情報開示の推進	・ 地域の利用者の利便性向上のため、ミニディスクロ誌を店頭に備え置きし、充実した情報開示の推進を図る。
(3) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	
①利用者満足度向上に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当金庫が取組んできた利用者満足度の把握方法等を検証したうえで、利用者満足度を重視した経営を確立するため、利用者の声を経営に反映させる施策について検討し、併せて業務改善等が必要な事項は、適切に改善を図ったうえで、その内容をできる限り公表する。 ・ 地域の利用者の利便性向上や信認の確保のため、利用者の目線に立ち、充実した分かりやすい情報開示の積極的な推進の取組み。
(4) 地域再生推進のための各種施策との連携等	
①地域活性化に向けた取組み	・ (株)はこだてティーエムオーとの連携による函館市「駅前・大門地区」「まちづくり」地域再生支援。